

2023 年 7 月 14 日

通貨ニュース

韓国: 7 月金融通貨委員会～インフレと景気動向を注視した運営を継続

韓国銀行(BOK)は13日、金融通貨委員会を開催し、政策金利(7日物レポ金利)を6人のメンバーの全会一致で3.50%に据え置くことを決定した(図表1)。据え置きは2月に利上げを停止してから4会合連続での決定となった。なお、ブルームバーグの事前予想でも現状維持が優勢だった。

声明文では、足許の世界経済動向について、前回会合以降も底堅いとしたが、世界的な金融引き締めの下で成長幅は限定的となることに言及した。国内経済について、景気減速懸念は幾分か後退しているとした。外需の動向は欧米を中心に半導体以外の輸出が上向いており、輸出の核をなす半導体の輸出についても底打ちの兆しが見えていと述べた。直近の貿易実績を見ても6月は22年2月以来の黒字に転じている(図表2)。要因として輸入の減少が寄与した点もあるため、外部環境が好転したとするのは早計ではあるが、引き続きその動向を注視したい。なお、BOKは23年の成長率を従前の前年比+1.4%に据え置いている。

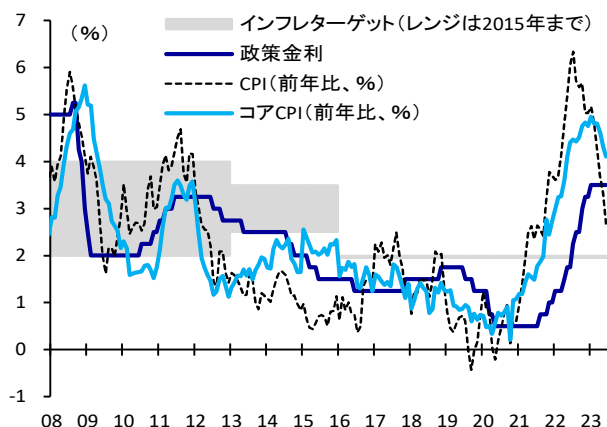
インフレ動向について、直近6月の消費者物価指数(CPI)は前年比+2.7%と21年9月以来となる2%台での推移となった(図表3)。インフレの主因は食料品価格や燃料価格から、サービス価格をはじめとしたコア部分に移っており、農産物とエネルギー価格を除いた6月のコアCPIは同+4.1%を記録した。先行きについて、BOKは国内の労働市場や世界景気動向、原油をはじめとする資源価格の動向など、不確実な要素が混在していることを指摘し、総合インフレ見通しは同+3.5%に据え置き、コアインフレについては+3.3%から更に上振れする可能性を示唆した。

かかる中、BOKは足許のインフレが目標である2%を依然上振れる状況であることに言及し、物価安定の確保に重点を置き追加利上げの可能性にも触れつつ、かなりの期間において制約的な政策姿勢を維持する方針を示した。その一方で、今回会合では家計債務の増加を危惧した文言も見られた。コロナ禍において住宅ローンを中心に家計部門の債務は着実に膨れ上がっており、ここまで継続した利上げによって金利負担が増加すること、都市部を中心とした不動産価格の下落が消費者心理の悪化に繋がることも考えられる(図表4、5)。これらの点を踏まえれば、インフレ抑制に傾いた運営を一貫することも困難である事情も推察され、インフレのほかにも景気動向にも配慮する必要性が増していると総括できる。

今月のKRWはここまで対ドルで持ち直しの動きが見られるが、これは米国での6月雇用統計、インフレ指標の軟化に伴い、利上げ観測が後退した点が大きい(図表6)。もっとも、FRBのインフレへの警戒は根強く、7月FOMCでの情報発信次第ではドルが反発することも考えられる。国内経済についても、外需依存度が高い経済である以上、引き続き中国経済の回復状況など不確実性が残る。先述の貿易統計のように前向きな材料も出つつあるが、短期間で状況が一変する可能性も残っている。月後半には中国の4～6月期GDP公表を控える中で、KRWは外部環境に揺れて、短期的に値幅を伴った取引が続くものと想定する。

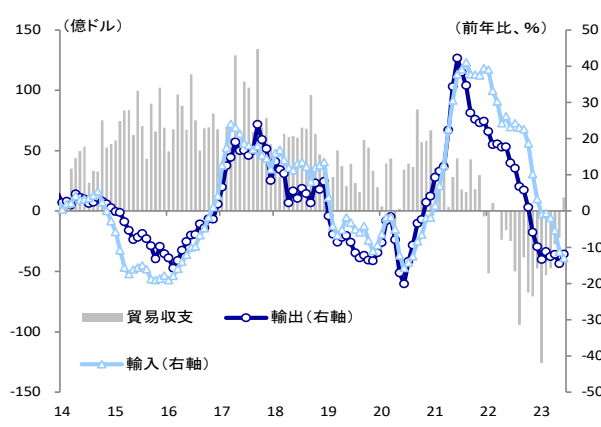
市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

図表 1: 政策金利とインフレ率



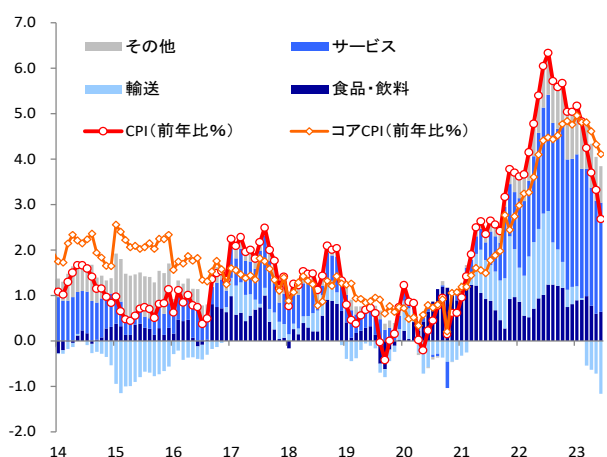
出所: BOK、CEIC、みずほ銀行

図表 4: 貿易収支の動向



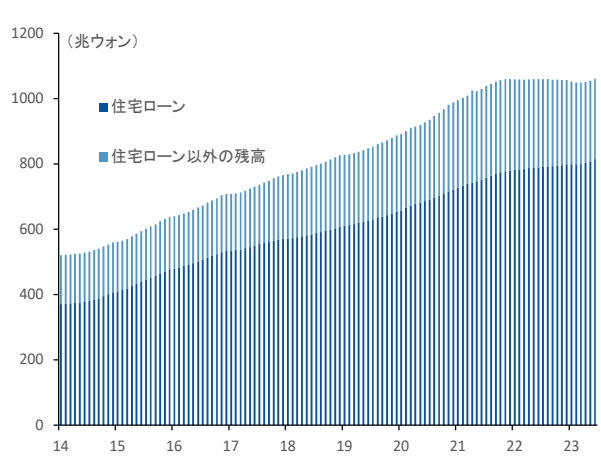
出所: CEIC、みずほ銀行

図表 3: 消費者物価指数の推移（前年比%、%ポイント）



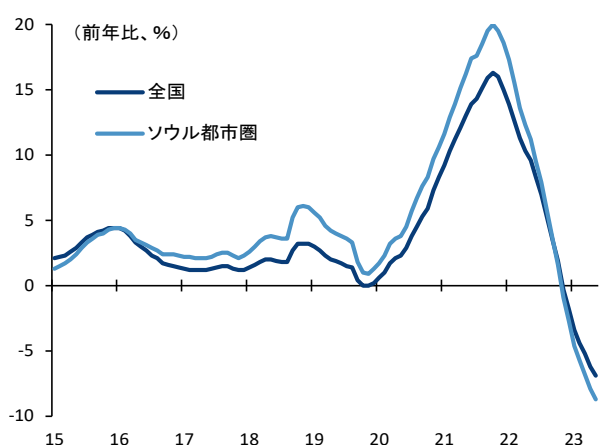
出所: CEIC、みずほ銀行

図表 4: 消費者信用残高の推移



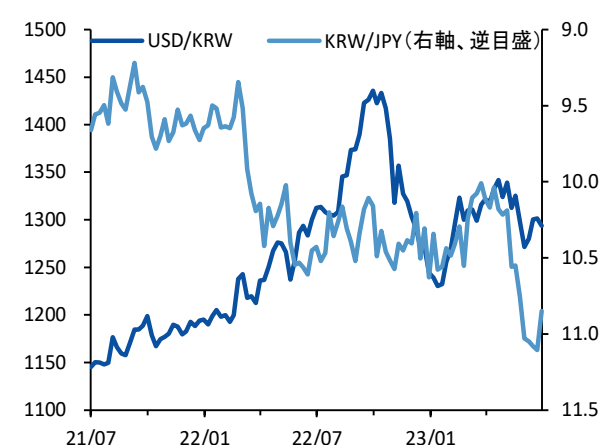
出所: Bloomberg、みずほ銀行

図表 5: 不動産価格の推移



出所: Bloomberg、みずほ銀行

図表 6: KRW の動向



出所: Bloomberg、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。